



ViewFramer
ユーザーガイド
kintone ver.
(Excel ブラウザマッピング
/ヘッダー明細)

Ver.1.4

改訂履歴

Ver.	改訂日	改訂内容
1.0	2019/08/22	新規作成
1.1	2020/11/09	出力バージョンの違いについて追記
1.2	2020/12/24	「3.2 テンプレートの新規作成」の注意点を追記
1.3	2021/09/17	「本書の使い方」に、Office アドインを使用した Excel 帳票出力設定を推奨する注釈を追記
1.4	2023/08/07	「5.2.3 ビュー定義: 詳細画面 - リレーション設定」 「5.3.2 ビュー定義: 詳細画面 - リレーション設定」に注意事項を追記

本書に記載されている会社名、製品名、サービス名などは、提供各社の商標、登録商標、商品名です。
なお、本文中に TM マーク、©マークは明記しておりません。

本書の使い方

本資料では、簡単な帳票見本を作成する中で、ViewFramer をご利用するにあたって最低限必要な基本操作手順を理解することを目的としています。

帳票出力には、kintone アプリストアからサイボウズが提供している標準アプリを使用しています。

各画面のボタンやコンポーネントの詳細などについては製品ヘルプをご参照ください。

※本マニュアルには、事情により Office アドインが使用できない場合の Excel 帳票出力設定方法を記載しております。

Office アドインが使用できる場合は、マニュアル「ViewFramer ユーザーガイド kintone ver. (Excel/Word Office アドイン/ヘッダー明細)」にて Excel 帳票出力設定方法をご確認ください。

本書の表記

本書では、以下の表記で記載しています。

表記方法	内容
注意	操作上の注意事項について記載しています。
Point	操作上で知っていると便利なポイントについて記載しています。
参照	本書における参照先を記載しています。
[]	ボタン名やタブ名、キーボードのキーなどの表記で使用します。
「 」	システム名、メニュー名、画面名、項目名、参照先などの表記で使用します。

目次

1. はじめに	5
2. 全体の流れ	6
3. テンプレートのデザイン	7
3.1 デザインの作成	9
3.2 テンプレートの新規作成	10
3.3 基本操作の紹介.....	11
3.4 実際に作る	13
4. 項目のマッピング	17
5. ビュー定義	21
5.1 ViewFramer ログイン	21
5.2 ヘッダービューの定義	23
5.2.1 ビューの作成.....	23
5.2.2 ビュー定義: 詳細画面 - 基本設定	23
5.2.3 ビュー定義: 詳細画面 - リレーション設定	24
5.2.4 ビュー定義: 詳細画面 - 出力項目設定	25
5.2.5 ビュー定義: 詳細画面 - 出力条件.....	26
5.3 明細ビューの定義	27
5.3.1 ビュー定義: 詳細画面 - 基本設定	27
5.3.2 ビュー定義: 詳細画面 - リレーション設定	27
5.3.3 ビュー定義: 詳細画面 - 出力項目設定	28
5.3.4 ビュー定義: 詳細画面 - 出力条件.....	28
6. マッピング定義	29
6.1 マッピングの作成.....	29
6.2 マッピング管理: 詳細画面	29
6.3 マッピング管理: 出力設定画面	31
7. 出力ボタンの作成	33

1. はじめに

ここでは ViewFramer で出力する帳票を作成するにあたって重要となる「ヘッダー明細型」の概念について説明します。

ヘッダー(またはフッター)と明細のある帳票を 2 つのグループに分けて考えます。ヘッダーやフッター部分を「非明細部」と呼びます。それ以外の部分を「明細部」と呼びます。この非明細部と明細部に分けることのできる帳票を、「ヘッダー明細型」と定義しています。

商品コード	商品名	単価	数量	金額
00001	商品1	100,000	1	100,000
00002	商品2	100,000	1	100,000
00003	商品3	100,000	1	100,000
00004	商品4	100,000	1	100,000
00005	商品5	100,000	1	100,000
合計				500,000
消費税				40,000
総合計				540,000

・非明細部

取引先や住所などのように、帳票上に一度しか表示されない項目が集まる領域。
ヘッダーやフッター

・明細部

商品名などといった、帳票によって行数が変わる領域。
「繰り返し領域」ともいう。

ViewFramer からこのヘッダー明細型帳票を作る場合、主に

非明細部: ヘッダービュー(起点となるアプリから抽出したデータ)

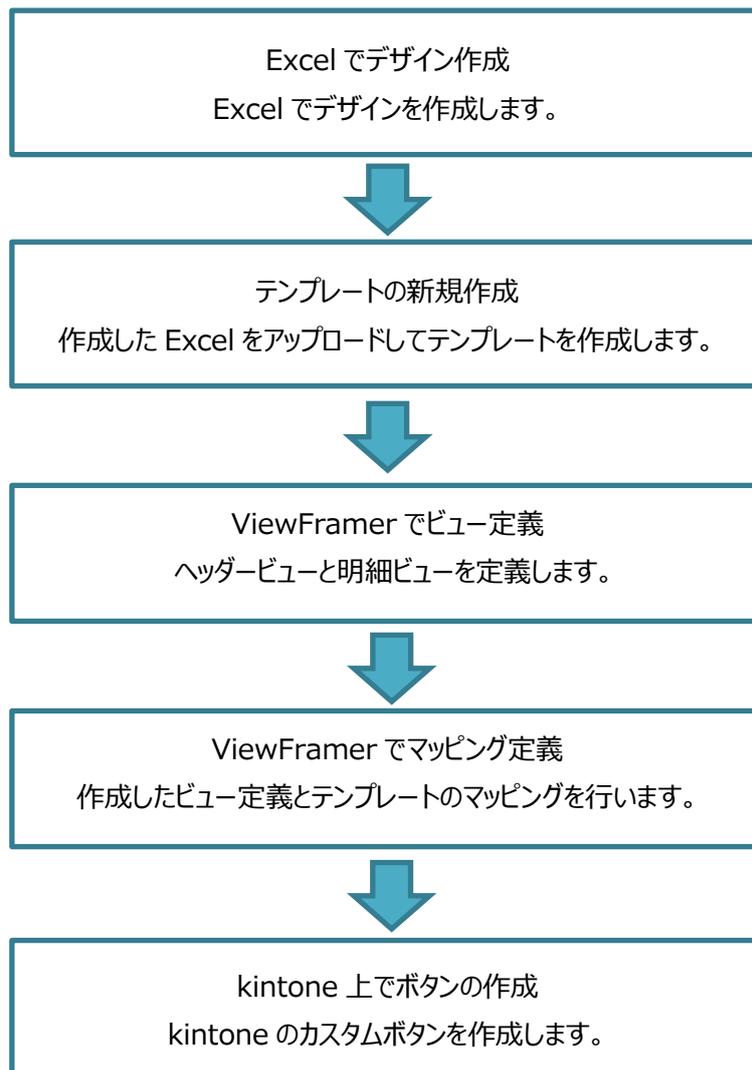
明細部: 明細ビュー(起点となるアプリの項目と対応する項目を持つアプリ(複数レコード)から抽出したデータ)

を用いてそれぞれの部分を埋めることになります。

つまり、非明細部で使用するアプリのレコードと明細部で使用するアプリのレコードは 1 対 n の関係となります。

2. 全体の流れ

ViewFramer では、以下のような流れで帳票出力が可能になります。



3. テンプレートのデザイン

出力したい帳票の見た目を OPROARTS Live でデザインします。

本ユーザーガイドでは、以下のような帳票を出力するためのテンプレートを作成します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	
1										
2		サンプル帳票					①	2019/07/31		
3										
4		サンプル取引先		②						
5										
6		商品名								
7		製品1								
8		製品2							③	
9		製品3								
10		製品4								
11		製品5								
12										
13		備考								
14		サンプルテキスト					④			
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										

番号	内容
①	帳票出力した日付
②	顧客情報アプリの会社名項目
③	商品リストアプリの商品名項目
④	見積書アプリの備考項目

番号を振っていない部分の文言は固定文言です。

任意の文言を配置、もしくは何も配置しなくても問題ありません。

※「見積書アプリ」と「商品リストアプリ」は kintone アプリストアの「商品見積書パック」のものを、「顧客情報アプリ」は「営業支援(SFA)パック」のものを使用しています。

※本テンプレートは帳票テンプレートの構造を理解するため、敢えて非常にシンプルな構成にしています。

OPROARTS Live での帳票デザインの詳細はこちらをご参照ください。

<https://s.oproarts.com/help/contents/ja/designer.html>

3.1 デザインの作成

デザインはすべて Excel 上で行います。書式設定や数式、マクロなどをそのまま引き継ぐことができます。ここでは、以下のように Excel シートを作成します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1									
2		サンプル帳票						(日付)	
3									
4		(取引先名)							
5									
6		商品名							
7		(商品名)							
8									
9		備考							
10		(備考)							
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									

デザインを作成する際の注意点は以下 2 点です。

- ・ アップロードできるセル数は 2500 セルまでですので、セルはできるだけ結合してください。
- ・ デザインに表示される領域は、Excel 上で[Ctrl]+[End]キーを押下した時に選択されるセルと A1 セルの間の範囲になります。この範囲に不要なセル（空欄の行や列）がある場合はできるだけ取り除いてください。
- ・ 数式があるセルにマッピングしても、出力時は数式が保持されます。

その他の制限事項については、以下のヘルプのセクション

- ・ Live, Document Designer for Office 全てに対する制限
- ・ Live Excel の制限(Live for Salesforce, Live Excel) ※Office アドインではなく、ブラウザマッピング版に記載しております。

[Excel/Word/PowerPoint 帳票に関する動作要件と制限事項](#)

3.2 テンプレートの新規作成

OPROARTS Designer にログインし、左上の[新規作成]をクリックします。

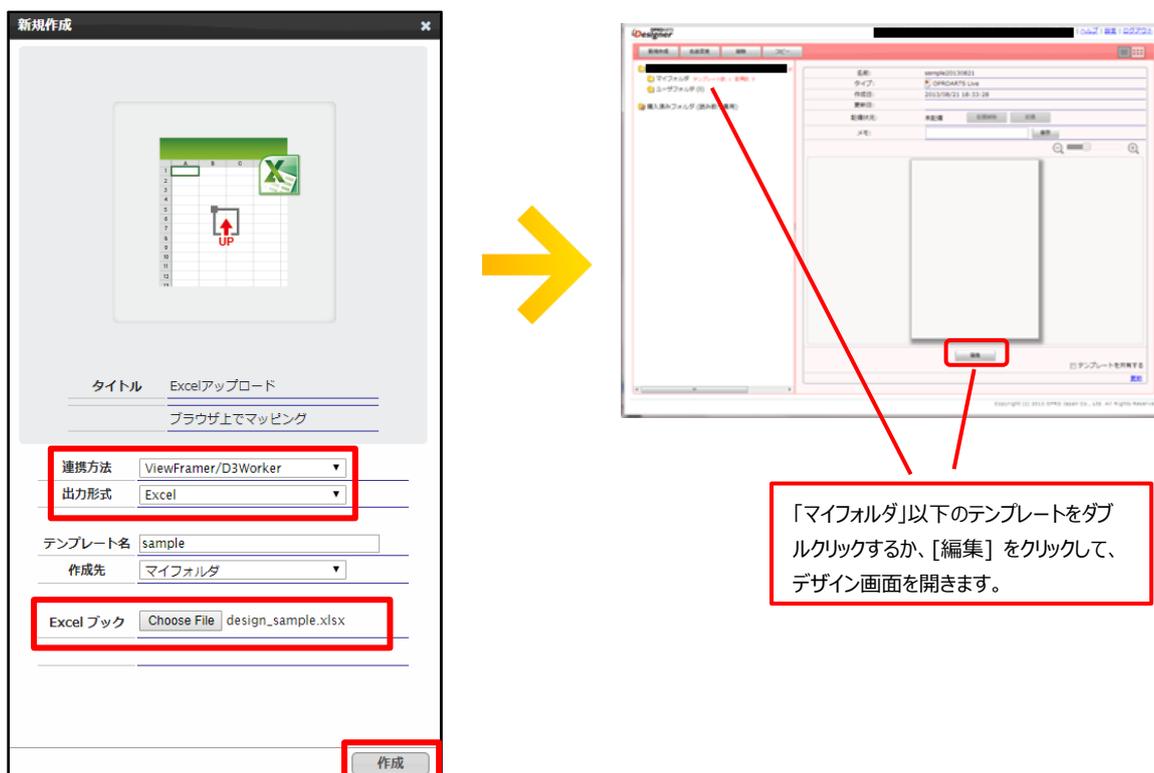


ここでは、[Excel] タブで「Excel アップロード」を選択します。
連携方法「ViewFramer/D3Worker」、 出力形式「Excel」を選択してください。

以下のルールに従って任意のテンプレート名を入力し、[作成] をクリックしてください。

- ・使用できる文字は、英数字とアンダーバー
- ・先頭の文字はアルファベットである
- ・最後の文字がアンダースコアでない
- ・アンダーバーが 2 個以上連続していない

Excel ブックに作成したデザインを選択し、[作成] をクリックします。



※デザイナー上では、Excel の編集を行うことはできません。デザインが完了している Excel をアップロードしてください。

※Excel をアップロード後、シート名を変更することができません。ご注意ください。

3.3 基本操作の紹介

使用する Excel のセル座標に対して、データの挿入を行う仕組みとなっています。そのため、セルの書式設定、関数、マクロ、図形、グラフ、画像がお使いいただけます。グラフや図形など、デザイナー上には表示されないコンポーネントがありますが、出力時には表示されます。

データマッピングを行うセルを指定するため

1. レイアウトのセルをクリックして選択し、
2. 画面左の[内容][タイプ]の「動的」を選択します。
静的 …… 固定の文言を表示します。
動的 …… kintone のデータを表示します。



また、作成したテンプレートの編集画面でレイアウトをクリックした時に設定できる機能は以下です。

名称	機能
非表示行を処理しない	チェックをいれた場合、非表示行は削除される。
明細の出力行がない場合そのままにする	チェックをいれた場合、明細が一つもない時でも空の明細行を表示する。
条件付き書式を明細に合わせ調整する	チェックをいれた場合、Excel に設定されている条件付き書式を明細すべてに適用する。
データが空の場合はセルを空で上書く	チェックをいれた場合、データが空の時にはセルを空にする。
メタデータ	選択した属性を動的に変更することができる

セルをクリックした時に設定できる機能は以下です。

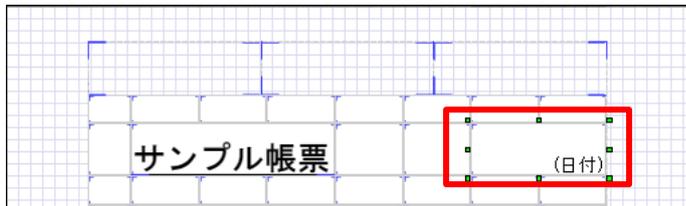
名称	機能
タイプ	「動的」を選択すると、外部データを表示します。
この行をバンドとする	選択されているセルを含む行を明細行とします。
この行をグループヘッダとする	選択したセルを含む範囲をグループヘッダ・フッタとして指定します。 この設定を行うと、マッピング画面でグループキーとなる項目を指定することができ、グループキーの切り替わるタイミングでヘッダ・フッタが表示されます。 バンドの上方をグループヘッダ、下方をグループフッタとして自動的に設定します。
この行をグループフッタとする	同上
グループフッタで改ページ	「この行をグループフッタとする」の設定がされている時のみ指定できます。この設定を行うと、グループフッタが切り替わるタイミングで「改ページの挿入」設定がされます。
高さの自動調整	「折り返して全体を表示する」設定を行います。1 行の文字数を指定する必要があり、等幅フォントのみ対応しています。
書き込みのデータ型	指定したデータ型で Excel に挿入します。セルの書式設定の変更はいたしません。
コンポーネントグループ	マッピング画面のコンポーネントグループの命名を行います。基本的には自動的に設定されます。

3.4 実際に作る

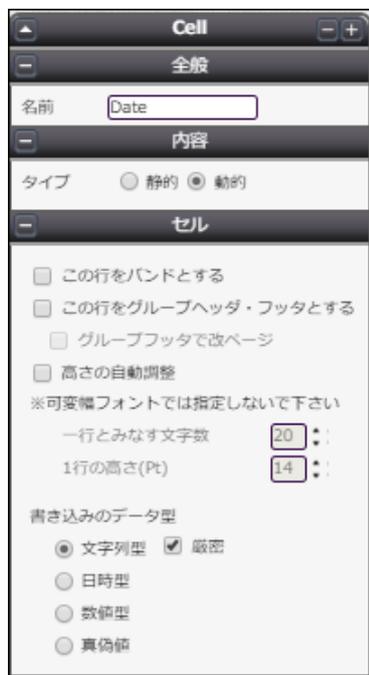
ここでは、実際にデータマッピングを行うセルの指定をします。

1. 日付

帳票を出力した日付を表示したいセルをクリックします。



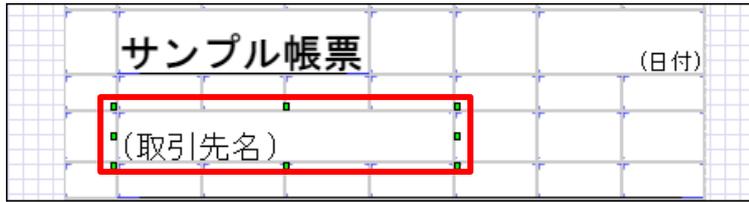
以下のようにプロパティを設定します。



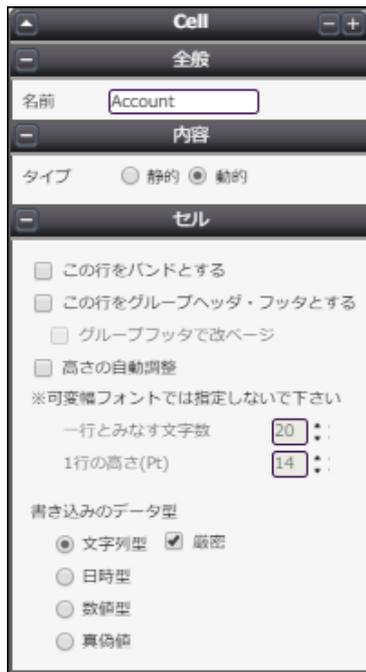
- 名前 : Date
- タイプ : 動的
- 書き込みのデータ型 : 文字型(厳密にチェック)

2. 取引先名

取引先名を表示したいセルをクリックします。



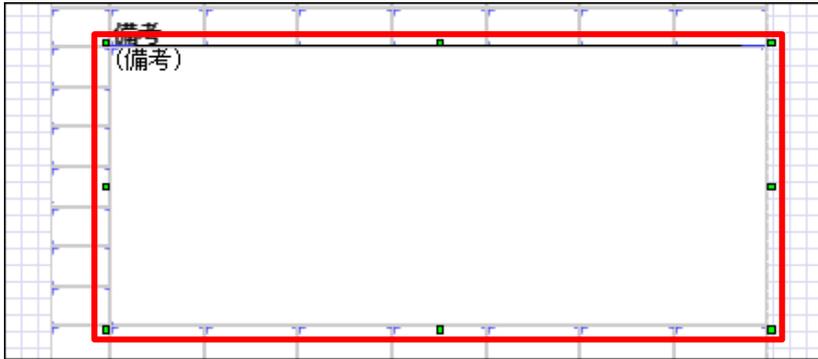
以下のようにプロパティを設定します。



- 名前 : Account
- タイプ : 動的
- 書き込みのデータ型 : 文字型(厳密にチェック)

3. 備考

備考を表示したいセルをクリックします。



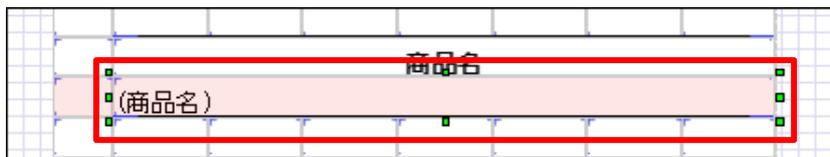
以下のようにプロパティを設定します。



- 名前 : Remarks
- タイプ : 動的
- 書き込みのデータ型 : 文字型(厳密にチェック)

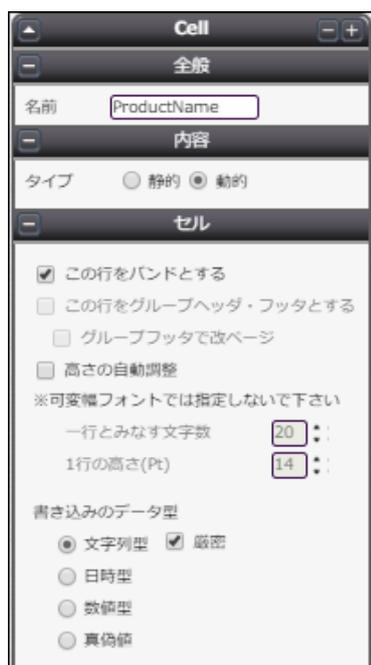
4. 商品名

商品名を表示したいセルをクリックします。



以下のようにプロパティを設定します。

この行は明細行となるので、「この行をバンドにする」にチェックを入れます。



- 名前 : ProductName
- タイプ : 動的
- この行をバンドとする : チェックを入れる
- 書き込みのデータ型 : 文字型(厳密にチェック)

以上の設定が終わったら、保存ボタン(📄)をクリックして、矢印ボタン(➡)でマッピングへ進みます。

4. 項目のマッピング

デザインしたテンプレートに CSV フィールドをマッピングします。

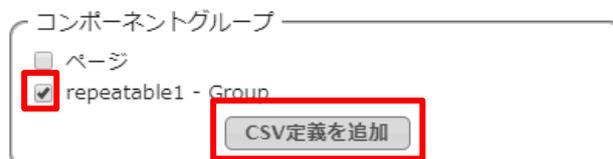
1. 画面左上の「コンポーネントグループ」内、「ページ」と「repeatable1」の両方について、CSV 定義を追加します。



「ページ」にチェックを入れ、[CSV 定義を追加]をクリックします。



「repeatable1」についても同様にします。



- それぞれのコンポーネントグループについて、CSVデータのフィールドを決定します。
[フィールドを定義]をクリックし、[追加]ボタンでフィールドを追加します。

ページ

1. ページ 向け CSV

フィールドを定義 マッピング
↑ ↓ 削除

CSV 定義

区切り記号付き 固定長

フィールド区切り記号

文字列の引用符

先頭行を無視する

データ出力条件

フィールド名	データタイプ	形式
Date	text	
AccountName	text	
Remarks	text	

追加 削除 上へ 下へ 形式の読み込み... サンプルCSV

repeatable1

2. repeatable1 向け CSV

フィールドを定義 マッピング
↑ ↓ 削除

CSV 定義

区切り記号付き 固定長

フィールド区切り記号

文字列の引用符

先頭行を無視する

データ出力条件

フィールド名	データタイプ	形式
ProductName	text	

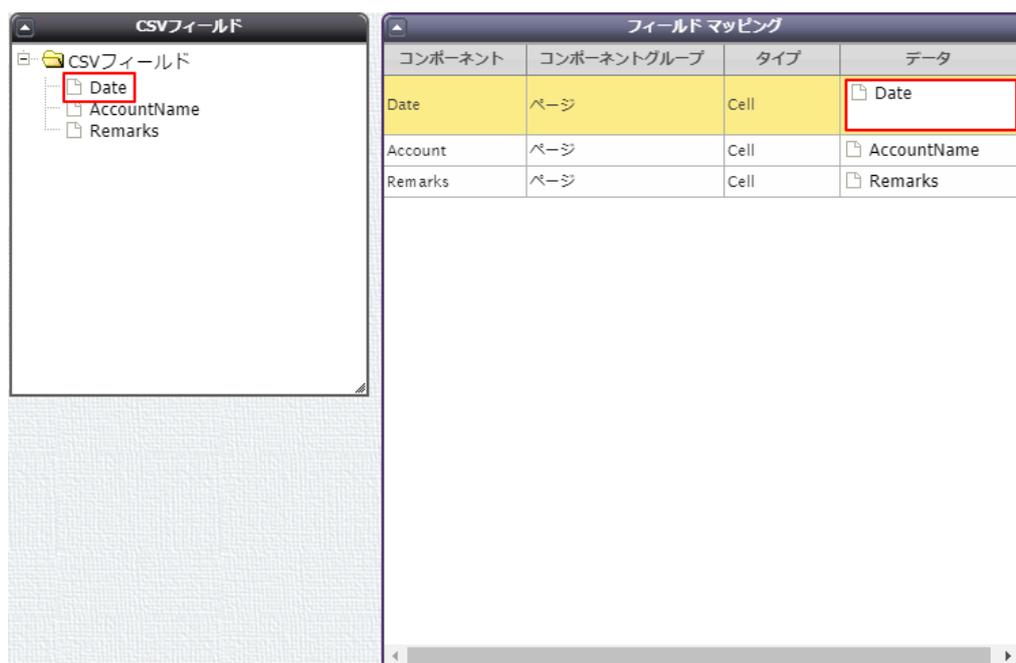
追加 削除 上へ 下へ 形式の読み込み... サンプルCSV

3. フィールドを追加したら[マッピング]をクリックし、それぞれのフィールドについてテンプレートのどの動的項目と対応するかを決定します。

設定したいフィールドの行をクリックして、画面左側の「CSV フィールド」から対応させたい項目を「データ」欄にドラッグ&ドロップします。

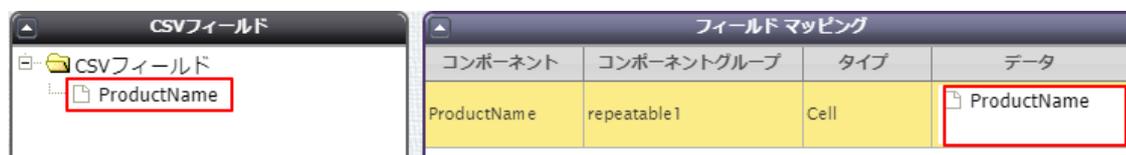
ページ

1. ページ 向け CSV



repeatable1

2. repeatable1 向け CSV



4. マッピングが終わったら、[保存]をクリックします。

CSV定義

1. ページ 向け CSV

フィールドを定義 マッピング

↑ ↓ 削除

2. repeatable1 向け CSV

フィールドを定義 マッピング

↑ ↓ 削除

リセット 保存

5. テンプレート配備ウィザードにて[配備]をクリックしてテンプレートを帳票出力に使用できる状態にします。

テンプレート配備ウィザード

テンプレートの配備

テンプレートは保存されましたが、帳票出力にはまだ反映されません。反映するには「配備」ボタンをクリックしてください。
配備ボタンのクリックで、「CID(弊社より発行されたOPROARTSの認証情報)」配下に [] テンプレートをコピーします。
配備することによって、下記のフォーム、ボタンから出力できるようになります。

ドキュメント生成フォーム

配備

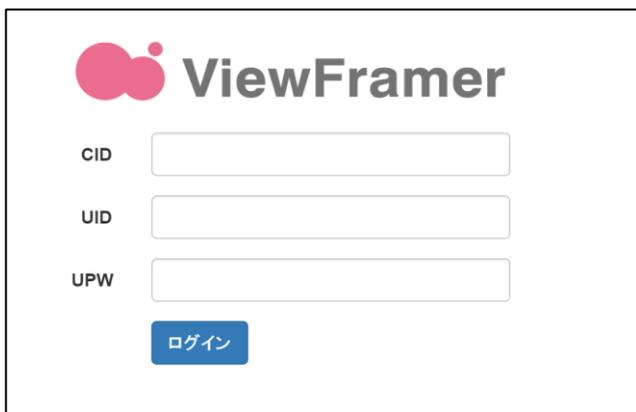
※テンプレートの編集をした際も、必ず[配備]をクリックしてください。配備をしないと変更点が帳票出力に反映されません。

5. ビュー定義

ViewFramer でビューを定義します。

5.1 ViewFramer ログイン

最初に、https://vfui.ap.oproarts.com/view_framer_ui にアクセスし、OPROARTS 認証情報を入力して ViewFramer にログインします。



The image shows the ViewFramer login interface. It features the ViewFramer logo at the top left, which consists of two overlapping pink circles and the text 'ViewFramer'. Below the logo are three input fields: 'CID', 'UID', and 'UPW'. At the bottom of the form is a blue button labeled 'ログイン' (Login).

次に[認証情報]タブを開き、kintone へログインします。



The image shows a Kintone login form titled 'ログイン' (Login). It includes a dropdown menu for '環境' (Environment) set to 'kintone', a 'サブドメイン' (Subdomain) field with 'aaaa', a 'ユーザID' (User ID) field with 'admin', and a 'パスワード' (Password) field with '*****'. There is also a 'ゲストスペース' (Guest Space) section with a radio button and a 'スペースID' (Space ID) field. At the bottom, there are two buttons: '現在のセッション情報を継承する' (Inherit current session information) and 'ログイン' (Login).

帳票出力に利用するアプリがスペースにある場合は、スペースIDを入力する。

帳票に使用するアプリのAPIトークンを登録します。APIトークンは各アプリ設定から発行をしてください。

※ここで使用するアプリは、kintone アプリストアの「商品見積書パック」の「見積書アプリ」と「商品リストアプリ」、また「営業支援(SFA)パック」の「顧客情報アプリ」です。



The screenshot shows the 'kintone ユーザ認証' (Kintone User Authentication) page. At the top, there are input fields for 'ドメイン' (Domain) and 'スペースID' (Space ID). Below this is a table with columns 'アプリID: アプリ名' (App ID: App Name) and 'トークン' (Token). The table contains three rows: '11: 顧客情報' (Customer Information), '8: 見積書' (Estimate), and '9: 商品リスト' (Product List). Each row has a '+' and '-' button to the right of the token field.



The screenshot shows the 'APIトークン' (API Token) generation page. It includes a '生成する' (Generate) button and a table with columns 'APIトークン' (API Token) and 'アクセス権' (Access Rights). The 'APIトークン' column contains a long alphanumeric string. The 'アクセス権' column has checkboxes for 'レコード閲覧' (Record View), 'レコード追加' (Record Add), 'レコード編集' (Record Edit), and 'レコード削除' (Record Delete), all of which are checked. There is also a checkbox for 'アプリ管理' (App Management) which is unchecked.

5.2 ヘッダービューの定義

5.2.1 ビューの作成

「ビュー」タブで「新規」ボタンをクリックします。



kintone にログインします。

(以降「現在のセッション情報を継続する」でもログイン可能です。また、以降のスライドではこの画面を省略しています。)



5.2.2 ビュー定義: 詳細画面 – 基本設定

基本設定では、ビューの名前とタグ(任意)を設定します。

タグは ViewFramer 内で作成したビューを検索する際のキーワードで、何も指定しなくても構いません。

ビューの名前を設定し、「次へ」をクリックします。例では、「QuotationHeader」としています。

※ ビュー名は半角英数で入力してください。



5.2.3 ビュー定義: 詳細画面 – リレーション設定

リレーション設定では、ビューで用いる kintone アプリを設定します。

主オブジェクトに「見積書」を選択し、ショートネームを入力します。任意ですが、例では以下のように指定しています。

見積書 = Quotation 顧客情報 = Account

関連オブジェクトには「顧客情報」を指定します。設定は以下の画像をご参照ください。

設定をしたら「次へ」をクリックします。

The screenshot shows the 'View Definition' interface with the 'Relation Setting' tab selected. The main object is set to '見積書' (Quotation) with a short name of 'Quotation'. The related object is '顧客情報' (Account) with a short name of 'Account'. A condition is set for the related object: '会社名' (Company Name) is equal to '0-見積書' (0-Quotation) with the field name '宛名' (Recipient Name). The condition is set to 'AND'. The '次へ' (Next) button is highlighted.

ビュー：定義

基本設定 リレーション設定 出力項目設定 出力条件設定

リレーション設定

主オブジェクト 見積書 Quotation

主オブジェクトのショートネーム

No 関連オブジェクト

1 顧客情報 Account

No	項目名	演算子	オブジェクト	項目名
1	会社名	等しい(=)	0-見積書	宛名

取引先と商談を結びつける条件を設定

戻る 元に戻す 次へ 保存

<主オブジェクトと関連オブジェクトについて>

主オブジェクトは、起点となるアプリを指定して下さい。(必ずしもボタンを配置するアプリとは限りません。)

関連オブジェクトは、帳票上に使用する主オブジェクト以外のオブジェクトです。参照関係先のオブジェクトも指定する必要があります。今回は、[会社名]を表示したいため、リレーションを作成しています。

見積書レコードに紐づく顧客情報レコードを取得するために、関連オブジェクトのリレーション設定では「[会社名]=[見積書.宛名]」を指定しています。

注意 複数のスペースの内容を1つのビューにまとめることはできません。

5.2.4 ビュー定義: 詳細画面 – 出力項目設定

出力項目設定では、帳票に出力する項目を指定します。

「全項目を追加」ボタンで kintone アプリのすべての項目を追加することもできますが、一つずつ追加する場合は「+」ボタンをクリックして項目を増やし、「項目ビルダー」から内容を指定します。

「出力項目名」を OPROARTS Live のテンプレート上で定義されている CSV の項目名と同じにしておくと、後の手順で自動的にマッピングすることができます。

ビュー：定義

基本設定 リレーション設定 出力項目設定 出力条件設定

出力項目設定

対象取得元 Quotation 全項目を追加

No	項目	項目ビルダー	ソート	グループ	出力項目名	
1	Account.会社名	項目ビルダー	順	昇順	AccountName	+ -
2	Quotation.備考	項目ビルダー	順	昇順	Remarks	+ -
3	Quotation.見積番号	項目ビルダー	順	昇順	QuotationNumber	+ -
4	FORMAT_DATE(TODAY(), 'yyyy/MM/dd')	項目ビルダー	順		date	+ -

項目ビルダー

テンプレートのCSVフィールド名と同じにする。

「列追加」ボタンをクリックし、オブジェクトと列を選択して追加します。

列追加ボタン

項目ビルダー

列追加

オブジェクト

列

検索名

オブジェクト：kintoneアプリの選択（リレーション設定で設定したショートネームで表示）
列：オブジェクトで選択しているアプリにあるフィールドコード

関数を使用することも可能です。

例ではシステム関数の TODAY()と FORMAT_DATE()を使用しています。

項目ビルダー

列追加

関数

関数を選択可能

5.2.5 ビュー定義: 詳細画面 – 出力条件

レコードの抽出条件を設定できる画面です。

見積に条件を追加します。以下のように設定をしてください。

パラメータ名は任意ですが、今回は「ID」としてください。

ビュー：定義

基本設定 リレーション設定 出力項目設定 出力条件設定

出力条件設定

Limitを超えるデータがある場合は無視せずにエラーにする。

No 取得元

1 Quotation Limit 未設定の場合は200,000が設定されます。

No	項目名	演算子	条件値	
1	見積番号	等しい(=)	パラメーター名 ID	+ -

2 Account Limit 未設定の場合は200,000が設定されます。

No	項目名	演算子	条件値	
				+

すべての設定が完了したら「保存」ボタンをクリックします。

一覧に戻る 戻る 元に戻す **保存**

5.3 明細ビューの定義

5.3.1 ビュー定義: 詳細画面 – 基本設定

明細用のビューを作成します。

ビューの名前を設定し、「次へ」をクリックします。

ビュー：定義

基本設定 リレーション設定 出力項目設定 出力条件設定

基本設定

ビュー名 QuotationLineItem

タグ (Enterキーで確定)

戻る 元に戻す 次へ 保存

5.3.2 ビュー定義: 詳細画面 – リレーション設定

主オブジェクトに「見積書」を選択し、ショートネームを入力します。任意の名前ですが、例では以下のように設定しています。

見積書 = Quotation 商品リスト = Product

関連オブジェクトに「商品リスト」を指定します。設定は以下の画像をご参照ください。設定をしたら「次へ」をクリックします。

ビュー：定義

基本設定 リレーション設定 出力項目設定 出力条件設定

リレーション設定

主オブジェクト 見積書 Quotation

No 関連オブジェクト

1 商品リスト Product

No	項目名	演算子	オブジェクト	項目名
1	型番	等しい(=)	0-見積書	型番

AND + -

戻る 元に戻す 次へ 保存

<主オブジェクトと関連オブジェクトについて>

ヘッダービューの時と同様に、参照項目先のオブジェクトとリレーションを作成します。

リレーション設定では、「[商品リスト.型番]=[見積書.型番]」を指定しています。

注意 複数のスペースの内容を1つのビューにまとめることはできません。

5.3.3 ビュー定義: 詳細画面 – 出力項目設定

ヘッダービューと同様に、帳票に出力する項目を指定します。

「出力項目名」を OPROARTS Live のテンプレート上で定義されている CSV の項目名と同じにしておくと、後の手順で自動的にマッピングすることができます。

ビュー：定義

基本設定 リレーション設定 出力項目設定 出力条件設定

出力項目設定

対象取得元 Quotation 全項目を追加

No	項目	項目ビルダー	ソート	グループ	出力項目名		
1	Product.商品名		順	昇順	ProductName	+	-
2	Quotation.見積番号			昇順	QuotationNumber	+	-

帳票には表示しないが、見積番号の項目を作成しておく。

5.3.4 ビュー定義: 詳細画面 – 出力条件

レコードの抽出条件を設定する画面です。

ヘッダービューと同じように、「見積番号」が「ID」と「等しい(=)」を指定し、保存します。

ビュー：定義

基本設定 リレーション設定 出力項目設定 出力条件設定

出力条件設定

Limitを超えるデータがある場合は無視せずにエラーにする。

No 取得元

1 Quotation Limit 未設定の場合は200,000が設定されます。

No	項目名	演算子	条件値		
1	見積番号	等しい(=)	パラメーター ID	+	-

2 Product Limit 未設定の場合は200,000が設定されます。

No	項目名	演算子	条件値
----	-----	-----	-----

すべての設定が完了したら「保存」ボタンをクリックします。

一覧に戻る 戻る 元に戻す 保存

6. マッピング定義

各ビューを一つのデータの固まりとしてまとめ、帳票テンプレートと紐づける「マッピング」の定義を行います。

6.1 マッピングの作成

最初に、「マッピング」タブを開いて「新規」ボタンをクリックします。



マッピング

ビュー CSVオブジェクト 表示設定 認証設定

マッピング：一覧

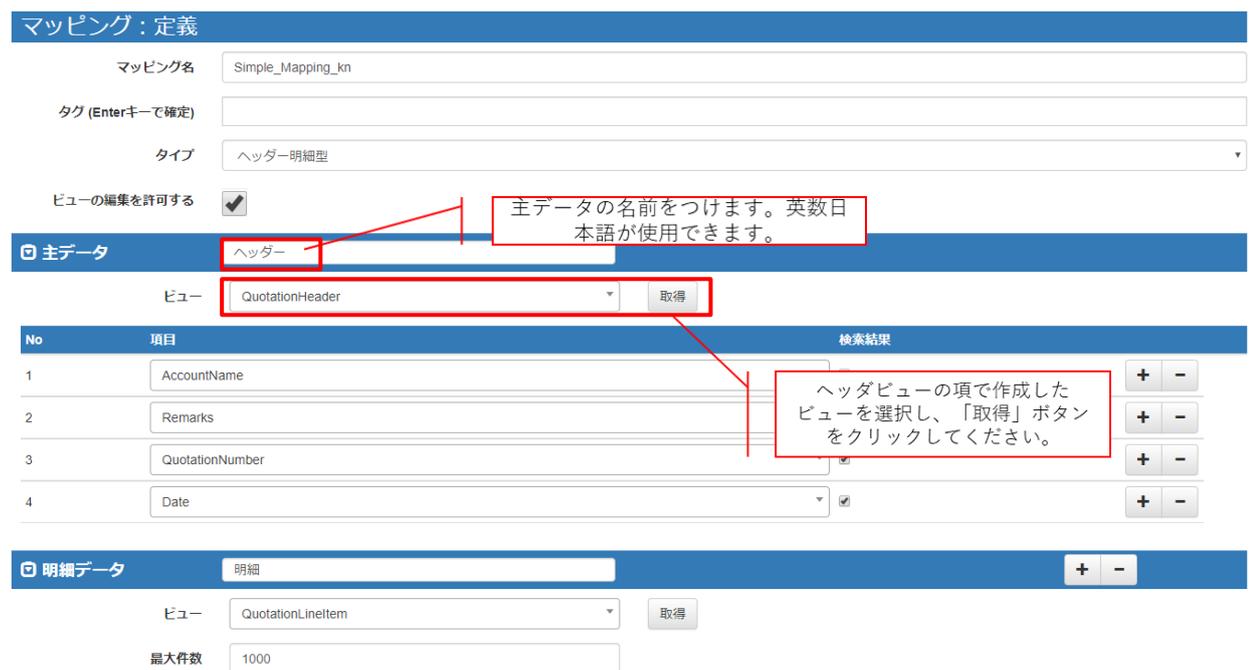
新規 インポート

作成者

マッピング名

6.2 マッピング管理: 詳細画面

マッピング名とタイプを指定します。タイプは「ヘッダー明細型」を選択してください。
主データには、ヘッダービューを指定します。



マッピング：定義

マッピング名 Simple_Mapping_kn

タグ (Enterキーで確定)

タイプ ヘッダー明細型

ビューの編集を許可する

主データ

ヘッダー

ビュー QuotationHeader 取得

No	項目	検索結果
1	AccountName	<input type="checkbox"/>
2	Remarks	<input type="checkbox"/>
3	QuotationNumber	<input checked="" type="checkbox"/>
4	Date	<input checked="" type="checkbox"/>

明細データ

明細

ビュー QuotationLineItem 取得

最大件数 1000

主データの名前をつけます。英数日本語が使用できます。

ヘッダビューの項で作成したビューを選択し、「取得」ボタンをクリックしてください。

明細データも、主データと同様に設定を行います。

設定ができれば、「次へ」をクリックしてください。

明細データ

明細

明細データの名前をつけます。英数日本語が使用できます。

ビュー QuotationLineItem 取得

最大件数

明細ビューの項で作成したビューを選択し、「取得」ボタンをクリックしてください。

No	項目	結果	主データとの結合
1	ProductName	<input checked="" type="checkbox"/>	
2	QuotationNumber	<input checked="" type="checkbox"/>	QuotationNumber

戻る 元に戻す 次へ

主データと明細データを紐づけるキーを設定します。[見積番号]が同じであることをキーにしたいので、「QuotationNumber」を指定します。

6.3 マッピング管理: 出力設定画面

[出力確認]タブの「データ表示」で取得データの確認を行えます。
問題がなければ、[Documentizer]タブをクリックします。

マッピング：定義 (Simple Mapping)：出力設定

出力確認 Documentizer D3Worker CSV

出力情報確認

添付CSVファイル

文字コード UTF-8

ファイル リクエストパラメーター名

ファイルを選択 選択されていません

出力条件にパラメータを指定している場合、
直接値を入力します。

パラメーター

ID

データ表示 出力バージョン Ver.3

ヘッダー

明細

一覧に戻る 戻る 元に戻す 保存 配備

Point データ表示の際に、出力バージョン(※)の指定が可能です。

パラメーター

ID

データ表示 出力バージョン Ver.3

Ver.2

Ver.3

ヘッダー

※出力バージョン切り替えの詳細については、以下ページをご参照ください。

[ViewFramer 出力バージョン切り替え方法 \(kintone\)](#)

注意 ここで指定した出力バージョンが、後に kintone 環境に設置する帳票出力ボタンの挙動に影響することはありません。

帳票テンプレートとのマッピングを行います。以下 3 つの設定を行います。

- ① テンプレートを選択
- ② データにビュー定義を指定
- ③ テンプレートの CSV フィールドとビュー定義のデータフィールドをマッピング
(左側「データ」(=テンプレートのフィールド名)と右側「データフィールド」(=ビューの出力項目)を結びつける)

マッピング：定義：出力設定

出力確認 Documentizer D3Worker CSV

Documentizer

プロパティ

データ ヘッダー

出力ファイル名 Live側の帳票テンプレートを指定します。

テンプレート

td1

データ ヘッダー

「td1」には、[マッピング管理：詳細画面]の主データを選択します。

No	データ	データフィールド	画像
1	Date	Date	
2	AccountName	AccountName	
3	Remarks	Remarks	

自動マッピング

「自動マッピング」でテンプレートと簡単にマッピングができます。

「td2」には明細データを指定します。
マッピングが完了したら、「配備」をクリックしてください。

td2

データ 明細

No	データ	データフィールド	画像
1	ProductName	ProductName	

自動マッピング

一覧に戻る 戻る 元に戻す

保存 配備

7. 出力ボタンの作成

kintone のレコード画面から帳票を出力するボタンを作成します。

kintone のレコード画面から ViewFramer で帳票出力をするためには、出力をリクエストするボタンを kintone 上に作成する必要があります。

1. まず、プラグインの設定をします。

ボタンを設置したいアプリ(ここでは「見積書」アプリ)の設定画面を開き、[設定]からプラグインを選択します。



2. [プラグインを追加]をクリックすると、OPROARTS ViewFramer のプラグインが表示されます。
チェックボックスにチェックをいれて、[追加]をします。



3. 次に[設定]をクリックし、ボタン設置設定の「追加」をクリックします。



4. [追加]をクリックすると、このアプリ上で出力が可能なマッピングの一覧が表示されます。
出力したいマッピングを選んで、追加をします。
追加後、「保存」をクリックし、アプリの更新を行ってください。

マッピング設定選択ダイアログ

	マッピング名	タイプ
<input type="radio"/>	BizFAX_kn_D3Worker	単票型
<input type="radio"/>	BizFAX_kn_Documentizer	ヘッダー明細型
<input type="radio"/>	CloudSignKintone	単票型
<input type="radio"/>	CloudSignKintone_Preview	単票型
<input type="radio"/>	CloudSignKintone_tsdemo	単票型
<input type="radio"/>	CloudSingnKintone01	単票型
<input type="radio"/>	CloudSingnKintone02	単票型
<input type="radio"/>	CloudSingnKintone_rd	単票型
<input type="radio"/>	DCSS_for_kintone_Hearingsheet	単票型
<input type="radio"/>	Kintone_CloudSign	単票型
<input type="radio"/>	Kintone_GMOAgree_keiyakusyo	単票型
<input type="radio"/>	Quote_kin_word	ヘッダー明細型
<input checked="" type="radio"/>	Simple_Mapping_kn	ヘッダー明細型
<input type="radio"/>	SonyDCSSKintone	単票型

5. 操作の「編集」から、ボタンの詳細設定が行えます。

ボタン

ここで設定したボタンがアプリに表示されます。

マッピングを選択してボタンを追加します。

	マッピング名	ボタン名	ボタンの種類	タイプ	設置場所	開発中	出力形式	操作
<input type="checkbox"/>	Simple_Mapping_kn	出力	出力	ヘッダー明細型	詳細ページ	開発中	PDF	<input type="button" value="編集"/>

6. 開発中にチェックを入れると、開発中ボタンを「表示する」と設定したユーザーにのみこのボタンが表示されます。ボタンを全てのユーザーに対して表示したい場合は、チェックを外してください。

設置場所	詳細ページ ▼
開発中	<input checked="" type="checkbox"/> オンにすると特定のユーザーのみに表示されます。

7. 出力バージョンを指定します。
また、出力形式に「Excel」を選択します。

出力設定	
設定名	値
出力バージョン	Ver.3 ▼
出力形式	Excel ▼

Point 出力バージョン(Ver. 2、Ver. 3)の違いは以下ページに記載の通りです。
[ViewFramer 出力バージョン切り替え方法 \(kintone\)](#)

8. ID(ヘッダービューと明細ビューの2つ分あります)に「見積番号」を選択して「変更する」をクリックします。

パラメーター	
パラメーター名	値
ID	項目名 ▼ 見積番号 ▼
ID	項目名 ▼ 見積番号 ▼
<input checked="" type="button" value="変更する"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

9. 全体を[保存]し、アプリを更新します。

	マッピング名	ボタン名	ボタンの種類	タイプ	設置場所	開発中	出力形式	操作
<input type="checkbox"/>	Simple_Mapping_kn	出力	出力	ヘッダー明細型	詳細ページ	開発中	Excel	編集

削除 選択したボタンを削除します。

前処理/後処理
 帳票出力処理の前後に処理を差し込みたい場合は、処理を記述したJavaScriptファイルを指定してください。

前処理: No file chosen

後処理: No file chosen

見積書

フォーム 一覧 グラフ 設定

10. 保存が完了したら、作成したアプリの詳細ページにボタンが表示されます。

クリックすると、表示されているレコードの情報を使用し、指定したレイアウトの帳票が出力されます。

見積書

アプリ: 見積書 一覧: 見積書一覧 レコード: サンプル取引先

お見積書

サンプル取引先 様 見積番号 1 見積日 2019-06-03

宝番	商品名	単価	数量	小計
1	製品1	100	1	100
2	製品2	200	2	400
3	製品3	300	3	900
4	製品4	400	4	1,600

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	
1										
2		サンプル帳票							2019/07/31	
3		サンプル取引先								
4										
5		商品名								
6										
7		製品1								
8		製品2								
9		製品3								
10		製品4								
11		製品5								
12										
13		備考								
14		サンプルテキスト								
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										

ViewFramer
ユーザーガイド
kintone ver.
(Excel ブラウザマッピング
/ヘッダー明細)

発行元 株式会社オプロ